



■サークル発表会

- 日程：2019年2月23日（土）受付18時15分 18時45分から20時45分
- 場所：生野区民センター・ホール
- 参加費：1500円（酒代別）

初めは大切な身内の方などに見てもらう機会を作ろうと始まった発表会！早いものでもう3回目です^^

今回は場所を広く移して生野区民センターで開催します!!□

もちろん！いろんなたくさんの方と楽しい時間を過ごしたいからです(o^^o)

ご家族友人などなど！興味のある方はぜひお越しください(*^▽^*)♪



■KNOWING2019 in Kyoto への参加

- 日程：2019年2月24日（日）16時から
- 場所：コリアタウン他
- 参加費：未定

京都と大阪で在日コリアンと統一、日韓の平和をテーマにした日韓平和交流キャンプが開催されます。その企画の一部に協力参加することになりました。コリアタウンの見学その他、在日コリアンのアイデンティティや統一などをテーマに添えて語る交流会を行います。日韓合わせて25人が参加する予定です。前日のサークル発表会に続き、こちらも参加しちゃいましょう～～！！

<活動報告>

●トーク 温又柔×三木幸美「ここで暮らす KOKO DE KURASU.」(1/26)



「ダイバーシティ」について考える枠組みとして、1年間通して行われた「ここにいる koko ni iru」大阪企画、その集大成イベントとして、梅田グランフロントのナレッジサロンで開催されました。KEYとしては柄にもなく、すごくお洒落な空間で行われたイベントで、総勢 80 名の方々が集まりました。

主催者を代表して、高谷幸さん（移住者と連帯する全国ネットワーク）の挨拶から始まり、私が1年間の取り組みについての報告を行った後、メインである、温又柔さん（作家）と三木幸美さん（とよなか国際交流協会）によるトークショーを行いました。

トークショーで取り扱われたテーマは「ことば」と「わかる」ということでした。温さんは台湾生まれで幼少期に日本に渡ってきた方、三木さんは日本人の父親とフィリピン人の母親から生まれたハーフです。お二人ともルーツの国のことばに触れながらも、日本語を母語として育ってきました。その中で自分の国の言葉が話せないというコンプレックスを持ってきました。しかし、それは台湾なんだから、フィリピンなんだからという社会から貼られたレッテルにより、行動が規定されるものによるものだということが分かってきます。このルーツの「ことば」が話せないことを説明すること一つにしても、人々を巣くう固定観念により、他者にはなかなか理解されない。あるいは、安易に「わかる」と意思表示され、分かった気でいられるもどかしさについてのお話に、私は、強い共感を覚えました。（あるある！！）

トークショーの司会者が、SNS の広まりにより、とにかく分かりやすく、短い言葉がよいという社会風潮にアラームを鳴らす意味で「カットインパクト」という名言を使い、三木さんや温さんが語り続けることが考えさせない社会風潮へのカウンターに

なるという称讃メッセージを送りました。

イベントチラシに書かれた三木さんのプロフィールに「切り取らせない」ことばを発信するというフレーズがあります。「切り取らせない」ことばを語ることはもちろんのこと、「ことば」ひとつひとつには、それがどれだけ些細なものであったとしても、流れがあり、背景があり、それを読み取る、想像する力が大切で、その力を養っていきたいし、意識していきたいと思いました。これはまさにダイバーシティを実現していく道だと思います。言葉でいうのは簡単ですが、遠い理想で達成はないものと考えられます。しかし、少しでも一人一人の尊厳が認められ、安心して暮らしやすい社会のために、「切り取らせない」ことばについて、日常の中で意識していきたいと思いました。

●サークル公演 (1/26)



生野区老人福祉センターにて1時間ほど公演を行いました。サムルノリから始まり、プチェチュム、ヘグム演奏、マダン劇、カヤグム演奏、プンムルノリと盛りだくさんでした！

大きなホランイ(トラ)の登場に、声を上げる方、内容に声を上げる方。いろんな方がいらっしやいました□

参加している方が、在日コリアンと日本の方が半々ぐらいと聞き、朝鮮民謡だけでなく美空ひばりさんの「川の流れのように」をチョイス！
たくさんの方が、カヤグムの音色に合わせ口ずさんでる姿になぜかホロリ。。

最後のあいさつの後には、「仲良く暮らしていきたい」という想いでいるのに現状そうでないことへの苛立ちの声もありました。

皆様の姿から、私たちも元気をもらえる。そんな時間でした。これからも縁を繋いでいければと思います!!